



No.7

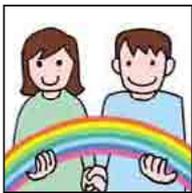
平成19.10.1発行

墨田区男女共同参画情報誌



# 仕事と家庭のバランス、 見直してみませんか？

特集  
多様な働き方のできる  
社会に向けて



墨田区男女共同参画情報誌『にしじ』は女性も男性も共に輝く社会へのかけはしになることを願って名付けられました。

## CONTENTS

巻頭インタビュー  
佐々木かをりさん 2P

特集  
多様な働き方のできる社会に向けて  
「仕事と家庭のバランス、見直してみませんか？」 4P

区民レポート  
どうしていますか？  
仕事と家庭のバランス 6P

インフォメーション 8P

墨田さんちの男女共同参画物語  
将来、  
どんなふうになりたい？ 10P

私らしく輝いて  
運転ボランティア 萬年繁三さん 12P

巻頭インタビュー

## 佐々木かをりさん

イー・ウーマン代表

女性起業家の先駆的存在である佐々木かをりさん。28歳で翻訳業務等を行うコンサルティング会社を立ち上げ、現在は女性の自立を応援するサイトを運営する会社の社長も務めています。「理想の人生は自分の力でつくり出す」という佐々木かをりさんに、自分らしく生きるための秘訣についてうかがいました。



**どんなきっかけで起業された  
うと思っただのですか。  
その経緯をお聞かせください。**

1社目は、20代半ばで創業しましたが、初めから仕事で活躍していきたいとか、会社をつくりたいとか考えていたわけはありません。

私は、高校1年から大学を卒業するまで、音楽のプロモーション会社でアルバイトをしていました。必要に迫られたわけではないのですが、親からお小遣いをもらったり、親のお金で進学したりするのはあまり好ましくないと思って、自ら働いていたのです。

男女雇用機会均等法が施行される前でしたが、その会社は、男女の差がなく働ける会社でした。8年ほどアルバイトを続け、たくさん仕事を経験させていただき、大学卒業後も自然にその会社に就職しました。しかし、就職したものの、コンサートの仕事は毎晩夜中まで続き、週末も仕事がありましたので、ずっとこのままの生活でいいのかと考え、後先も考えず1年で辞めてしまいました。とりあえず何か仕事をしなくてはと、フリーランスで通訳・翻訳の仕事を始めました。この通訳・翻訳の仕事を通して、私は多くの出会いと学びがありました。そして、数年後、通訳者や翻訳者もつと活躍できる仕組みをつくること、会社を立ち上げたのです。

# 人生の主役は自分自身！

## 主役が幸せになるためには脚本を自分で書くことが必要です

2つの会社を立ち上げ、成長させてこられた中で、「苦勞されたことがあればお聞かせください。」

苦勞といえば苦勞ですが、楽しいと考えれば毎日が楽しいでしょう。ポイントは、自分がやりたいことに熱中し、工夫を重ね、全力で取り組んでいるか、ということだろうと思います。その点では私自身は、毎日が楽しいのです。

私は、「人生の主役は自分自身」と考えています。それは、自分自身が、主役が幸せになるための脚本を書くという責任を持つことであり、主役として、幸せな人生を歩むということです。そのように、自分を十分にケアすることができて初めて、周囲にプラスのエネルギーを与えられるのだと考えています。ですから成長の過程で出会うすべての出来事が、私にとっては課題であり、挑戦です。でも苦勞ではないのです。

2人のお子さんがいらっやいます。仕事と家庭を両立するために、どんな心がけていますか。

これも、どのように自分自身がハッピーであるのか、ということをまず考えられています。

私は「仕事と家庭を両立させる」という発想ではなく、「タイムマネジメント」として、時間管理を考えるようにしています。私という主人公が、仕事をしていても、子どもと時間を使っても、同じこと。仕事と家庭はどちらも大切ですし、自分のライフスタイルの中で、区別する必要はないと思うからです。

時間配分はそのときどきで変わってきます。かつてお腹に子どもがいたときは夜中の2時までオフィスで働いていました。けれども、子どもが生まれて大きくなるにつれ、親に対するニーズも違ってきました。小学生・中学生の多感な時期の今は、むしろ子どもとかわる時間が必要なので、現在は、子どものために、6時すぎには会社を出るようにしています。幸いネットがあるので、家でも同じように仕事ができます。時間管理をして、自分の人生が充実できるよう、工夫を重ねています。

しかし、仕事にしても子育てにしても、自分の手に負えないこともあるのではないですか。

手に負えない、ということはないと思いますが、短時間に解決するものばかりではないですね。ですから、上手く運ばないことがある場合は、ストレスをな

るべく溜めないようにしています。例えば、仕事でどうにもならないときには信頼する人に、「15分だけ愚痴を聞いてもらおう」とか、家庭で子どもとの課題に行き詰まったときには「お母さんは、できることをすべて提案したんだけど、どうだろう。これ以上はどついたらいいかわからない」と、正直に自分の気持ちを伝えるようにしています。

女性が働きやすい環境づくりとして、佐々木さんの会社で取り入れている制度はありますか。

私自身の育児経験から生まれた制度として、「進学休暇」や「親業休暇」があります。

進学前後の2年間は、入試、卒業式、入学式など時間が必要ですので、休みを取ることができるのが「進学休暇」。子どもの様子を見ていて必要に感じたときに休暇を取れる制度が、「親行休暇」です。欠勤扱いになりません。今はどちらも無給休暇なのですが、いずれは有給休暇にしたいと考えています。

最後に、「これからのビジョンをお聞かせください。」

イー・ウーマンで実践している「I statement」(「私」を主語にして一人称

で自分のことを語る)を一人でも多くの個人が身につけ、役立つ人に成長すること。そして、企業が、賢い消費者(スマートコンシューマ)と対話し、よりよいブランド価値創造に貢献できること。この両方をイー・ウーマンで支えたいと思っています。弊社には、やる気もあり能力も高い女性がたくさん集まります。女性を活用する企業は伸びるといふことを私たちがお見せする機会が増えれば、と思います。

### プロフィール ささき・かをり

1987年(株)ユニカルインターナショナル、2000年(株)イー・ウーマンを設立。海外渡航歴約30カ国。キャスター、コメンテーターとしても活躍中。著書多数。96年、日本で活躍する女性13人の1人として来日中のヒラリー・クリントン氏とのプライベート昼食会に招かれる。2児の母。2005年6月より多摩大学客員教授。



多様な働き方のできる社会に向けて

# 「仕事と家庭のバランス、見直してみませんか？」

人が生きていくためには、

働いて収入を得なければなりません。

これまで日本では、個人の生活よりも

仕事を優先して働くことが求められてきました。

しかし、近年、若い世代を中心に、

仕事と生活のバランスのとれた働き方を

したいという人が増えています。

いま、このような「仕事と生活の調和」

「ワーク・ライフ・バランス（）」のとれた

働き方をめざそうという考え方が注目を

集めています。

確かに、私生活が充実していないと、

仕事もうまくいかないものです。

今回の特集では、

一人ひとりのライフスタイルにあった

バランスのとれた働き方について

探ってみました。

## 欧米にみる「ワーク・ライフ・バランス」の取り組み

### 【オランダ】

時間あたりのパート労働者の賃金とフルタイム労働者の賃金が同等になるように法律を整備しました。その結果、男性のパートタイム労働者の割合が増え、家事・育児参加が可能になりました。子育て期間中は、夫婦でパートとフルタイムを活用することで、1人で働くよりも収入があり、家事や子育てに2人でかかわる時間もとれるというわけです。

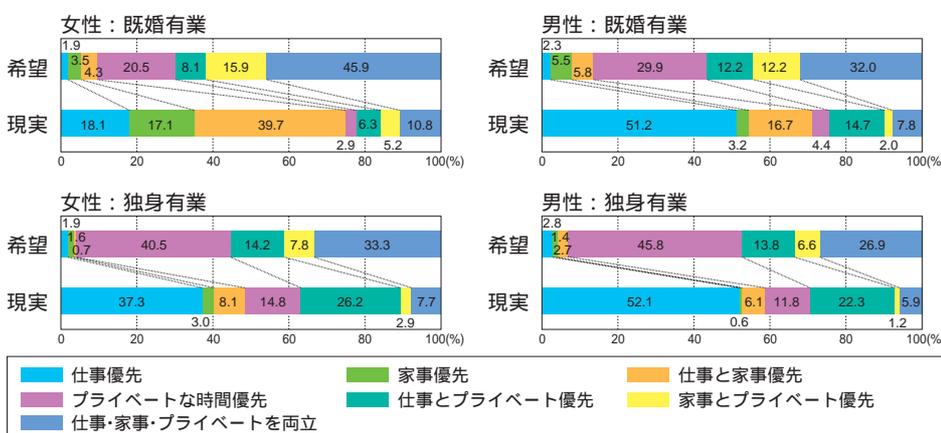
### 【アメリカ】

仕事と生活の調和が利益につながると考える企業を中心に、柔軟な勤務形態の提供や託児所の整備などの取り組みが行われてきました。近年は、自己啓発のための学費援助、従業員の健康維持のための支援など、未婚・既婚にかかわらずすべての労働者のための支援へと発展しています。



ワーク・ライフ・バランス/だれもが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らの希望にそった形で、バランスをとりながら展開できる状態のこと。

## データ1 属性別のワーク・ライフ・バランスの希望と現実



備考：男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会「少子化と男女共同参画に関する意識調査（男女の働き方とワーク・ライフ・バランス）」（平成18年）より作成。

資料：内閣府「男女共同参画白書」平成19年版

# 一人ひとりのライフスタイルにあった働き方に向けて

## 仕事と生活のバランスをとるために

仕事と生活のバランスのとれた働き方がしたい。下のグラフ（データ1）からもわかるように、独身、既婚を問わず、そう望む人の割合が高くなっています。しかし、現実には多くの人が「仕事優先」の働き方をしています。

実際、フルタイム労働者における週50時間以上働く人の割合をみると、子育てなどに忙しい世代である30代、40代の男性の労働時間は、この10年間増える傾向にあります。また、諸外国と比較してみても（データ2）、週50時間以上働く労働者の割合は日本が28・1%と最も高く、ワーク・ライフ・バランス先進国といわれるスウェーデンでは2%未満と低くなっています。仕事と生活のバランスのとれた働き方を実現するには、労働時間の見直しが必要といえます。

長時間労働は、女性の働き方にも影響を与えています。結婚や子育てを機に退職する女性はいまだに減っておらず、子育て期にあたる30代・

40代の労働力率は、男性が97%前後であるのに対し、女性は60%前半にとどまっています。また、長時間労働は、男性の家事・育児参加にも大きく影響しています。男性が家事・育児に時間を使う割合は依然低く、育児休業取得率も女性の72・3%に対し、男性は0・50%と1%にも満たないのです。

もちろん、仕事と生活のバランスは、一人ひとりのライフスタイルによって違うものです。ある時期は子育てを、ある時期は仕事に、また、自己啓発や自己実現のための時間を充実させたいという人もいます。いずれにしても大切なのは、一人ひとりの生き方にあった働き方を選べることです。

## 企業のメリットとは

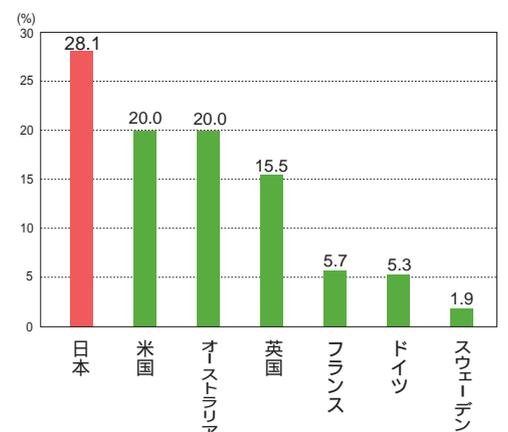
一方、働く場を提供する企業は、ワーク・ライフ・バランスについて、どのようにとらえているのでしょうか。「育児休業制度」や「短時間勤務制度」の利用による職場への影響を調べた調査によると（データ3）、約30%の企業が「プラスの影響が大きかった（26・6%）」また

は「どちらかというプラスの影響が大きかった（4・1%）」と答えています。

これからの少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業経営に大きな影響を与えることが予測されます。両立支援策を有効に活用したことで、人材の定着・確保がはかられ、従業員の意欲向上を通じて業績アップにつながったと多くの企業が答えています。この取り組みは、柔軟な対応ができる中小企業にとっては、優秀な人材を確保できるチャンスとなります。また、新しい視点（主婦の視点、自宅に早く帰ることのでられる気づき）による商品開発が企業の業績アップにつながったという結果も聞かれます。両立支援に取り組むことは難しいことではありません。コストをかけずに、まずはできるところから始めてみませんか。

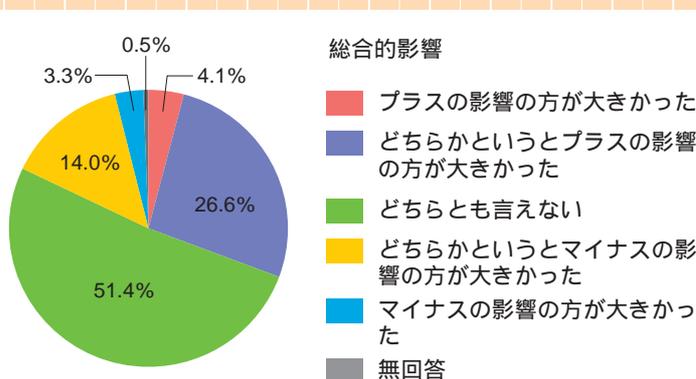
育児介護休業、職場における男女均等取扱いに関するご相談は、**東京労働局雇用均等室** 1H3512 1611（両立支援や雇用環境整備に関するご相談は、**都労働相談情報センター** 戸事務所調査普及係）1H3682 6321へ

データ2 週労働時間50時間以上の労働者割合



備考：ILO「Working time and worker's preferences in industrialized countries: Finding the balance」(2004)より作成。

データ3 「育児休業制度」「短時間勤務制度」の利用による職場への影響



備考：男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会「管理者を対象とした両立支援に関する意識調査」(平成17年)より作成。

資料：内閣府「男女共同参画白書」平成19年版

資料：内閣府「男女共同参画白書」平成19年版



区内企業  
(株)フットマーク

所在地：墨田区緑  
水着・水泳帽子・介護用品等企画製造販売  
社員数：70人（女性43人、男性27人）

仕事と生活の  
バランスについて  
働くみなさん  
にお聞きしました



【出席者】  
福地さん（経理部 / 正社員）  
久保田さん（ダイレクトマーケティング部 / 契約社員）  
亀田さん（品質管理部 / 正社員）  
小林さん（ウエルネス部 / スポーツ部 / 正社員）  
矢田部さん（ウエルネス部 / 正社員）  
吉川さん（スクール部 / 正社員）

仕事と生活、理想のバランスは？

**福地** 平日に子どもと一緒に食事をしたり、お風呂に入ったりできる時間に帰宅するのが理想です。でも、現実には無理なので、週末に妻や子どもと過ごす時間を取るようになっています。

**久保田** 理想は子育てしながら、仕事のための勉強の時間がとれることです。夫が家事・育児を引き受けてくれていますが、子どもに手がかる今はむずかしいのが現状です。

**亀田** 子どもが小さいので、短時間勤務を利用して働いています。理想は仕事や子育てを担いながらも、自分の時間が持てる

ことです。

**小林** 平日は子どもが寝ている時間には帰宅できません。理想は仕事と家庭を担いながら、休日のうち1日は自分の趣味の時間を持つことです。

**吉川** 私は独身なので、バランスのとれた働き方といっても、実感がありません。みなさんに比べたら自分の時間は持っているとだと思います。

**矢田部** 夫のほうが多く帰れる仕事なので、ふだんの家事はほとんど夫にお願いしています。共働きを続けていきたいので、仕事も子育ても夫婦で担ってほしいのが理想です。

理想の生活を実現するための課題

**久保田** 子育てに理解のある職

場なので助かっています。ただし、帰宅して3時間くらいは食事の支度や子どもの世話などで戦争状態。夫の会社も、せめて平日に1度か2度、家族のために早く帰ってこられる日を設けてくれるといいのですが……。

**亀田** そうですね。やはり、妻の側だけでなく、夫の会社の理解がないと厳しいですね。家事・育児を私一人で行うには限界があると思うので。

**矢田部** いま妊娠中で保育園を探している最中です。預ける時間や場所など、条件にあう保育園がないので苦労しています。

**小林** 私自身、仕事は忙しいがやりがいもあり、充実しているので不満はありませんが、子育て中の妻に、自分の時間を持たせてあげたいですね。例えば働いていない女性でも、子どもを預けられる施設があるといいですね。

**福地** 同感です。

**久保田** 確かに企業環境整備も大切ですが、働いている、いないにかかわらず、人間として充実して生きられるような社会のサポートがあるといいと思います。

(株)フットマーク  
人事担当 / 菊地さん

仕事と家庭の両立のための  
環境づくりについてお聞き  
しました



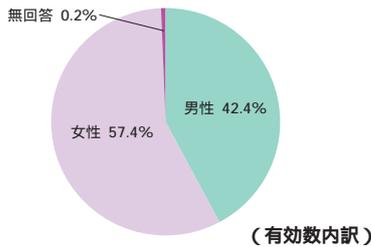
当社は、男女が同じようにいきいき働けるための環境づくりに取り組んでいます。その一つが、子育て中の短時間勤務の導入です。また、子育て中の方には、一次的に契約社員として働いてもらう制度があります。子育て中は、短時間勤務だけでは乗り切れないケースがあります。正社員なのに子育てを理由にその人だけ特例を設けると、どこかで不満が生じるものです。それを避けるためにも、必要な時期は契約社員として子育てを中心に働いてもらい、時期が過ぎたら正社員に復帰してもらうのです。こうした制度があるためか、当社は仕事と家庭を両立しながら働いている女性の割合は多いと思います。有能な方はたくさんいますので、ぜひ、こうした制度を利用しながら、自分の力を発揮して働いてほしいと思います。

てしまいかねません。つまり、ワーク・ライフ・バランスは、既婚者や子どもがいる人だけでなく、働くすべての人と企業のために有益なことなのです。すでに一部の企業では、短時間勤務や在宅勤務を実施するなど、個人の生活に合わせた柔軟な働き方への取り組みが始まっています。実は限られた時間の中で、優先順位をつけて仕事に集中することが、効率アップにつながるということがわかってきたからです。長時間働いていれば、生活が豊かになった時代は終わりを迎えています。一人ひとりが何のために働くのか、どんな働き方をしたいのか、見つめ直す時期にきているのです。その一歩として、仕事の効率をはかるよう努力してみる。あるいは自分のライフスタイルにあった働き方を提案してみる。社会全体の問題となつたいま、個人が主役の働き方へ変えていくチャンスです。

墨田区男女共同参画推進のための区民アンケート結果（概要）

回答者数

グラフ1 回収数 929人  
（回収率46.5%。郵送調査。区民2000人無作為）

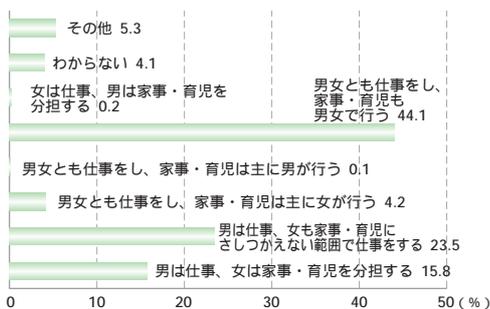


主な質問と回答 設問数29問

Q 家庭での男女の役割について理想としてはどうあるべきですか。（グラフ2参照）

理想とする家庭での男女の役割分担としては、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で行う」が44.1%で最も多い結果となりました。仕事と家庭のバランスをとりながら男女ともに自分らしい生活を望む方が増えてきています。

グラフ2 理想とする家庭での男女の役割分担



Q 男性が女性と共同して子育てに参加するためには何が重要だと思いますか。

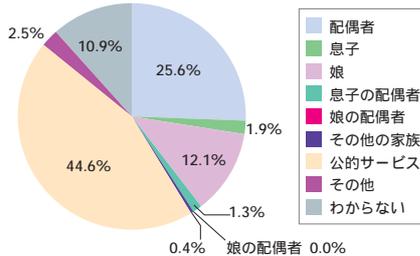
男性が女性と共同して、子育てに参加するために必要なこととしては、「仕事中心という社会全体の仕組みを改め、労働時間の短縮や休暇制度を普及定着させること」（40.8%）と「企業や地域が男性の子育て参加への理解を示すこと」（41.0%）が、いずれも40%を超え、とくに多くなっています。

Q あなたは介護が必要になったときどなたにお世話してほしいですか。（グラフ3参照）

自分に介護が必要になった場合に希望する介護者としては、「公的サービスを利用する」が44.6%で最も多く、これに「配偶者」が25.6%で次いでいます。性別でみると、「公的サービスを利用する」は女性が50.7%で男性が36.5%と、女性が多いのに対して、「介助者

に配偶者を希望」は、男性が41.1%と、女性は14.0%となっており介護者への期待に男女で大きな差があるようです。

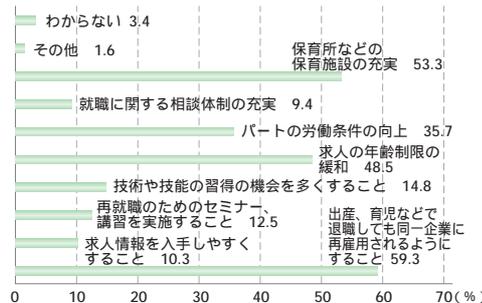
グラフ3 自身が介護が必要になった場合に希望する介護者



Q 一時家庭に入った女性が再就職を希望する場合はどのような補助や対策が望まれますか。（グラフ4参照）

一時期家庭に入った女性の再就職に必要な援助や対策としては、「同一の企業に再雇用されるようにすること」が59.3%で最も多く、以下「保育所などの保育施設の充実」（53.3%）、「求人年齢制限の緩和」（48.5%）の順で続いています。

グラフ4 一時家庭に入った女性の再就職に必要な援助対策



Q DVの防止、被害者の支援のためには何が重要だと思いますか。

ドメスティック・バイオレンスの防止と被害者支援のために必要な対策としては、「家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発」が51.7%で最も多く、以下「いざというとき、駆け込める緊急避難場所（シェルター）の整備」（45.0%）の順で続いています。

性別でみると、「住居や就労の斡旋、経済的援助など、自立して生活するための支援策の充実」が女性は40.8%、男性は25.4%と、女性がより多くなっています。

\*女性センターでは「女性のためのカウンセリング&DV相談」を行っておりますのでぜひご利用ください。（申込みは、9ページをご覧ください。）

男女共同参画に関する区民意識調査を実施しました

区では、平成16年3月に「墨田区男女共同参画推進プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現をめざして、さまざまな施策に取り組んでいます。

このプランは平成20年度末で計画期間が終了するため、新たなプランを策定する必要があります。そこで、6月下旬から7月にかけて、プラン見直しの基礎資料とするため、郵送やインタビューによる意識調査を実施しまし

た。今回は、その主な調査結果をご紹介します。なお、この報告書は10月下旬には、概要版を区の公式HPで閲覧ができるほか、本編は、すみだ女性センターや区立図書館・図書室、区役所1階情報

た。今回は、その主な調査結果をご紹介します。なお、この報告書は10月下旬には、概要版を区の公式HPで閲覧ができるほか、本編は、すみだ女性センターや区立図書館・図書室、区役所1階情報

コーナーにて貸し出し等を行います。  
【問合せ】自治振興・女性課男女共同参画推進担当（区役所5階）  
1H 5608 6512  
「墨田区公式ホームページ」  
<http://www.city.sumida.jp/>

すみだ女性センターからのお知らせ

再就職支援プログラム

再就職をめざす女性を対象に、チャレンジ支援プログラムとして講座を実施します。

ぜひご参加ください。

再就職をめざす女性のためのパソコン講座「仕事で使える表計算を覚えよう(エクセル)」

【日時】 11月21日(水)・22日(木)

午前11時～午後4時

【対象】 再就職、転職をめざす区内在住・在勤の女性15人

\*ワードの基本操作ができる方

【講師】 アートラボパソコン教室主宰

秋本順二氏

【場所】 すみだ学習ガーデン(東向島2387)

すみだ女性センター

【開館時間】

月曜日～土曜日 午前9時～午後9時  
日曜・祝日 午前9時～午後5時

〒113-10045

東京都墨田区押上二丁目12番7-11号

H03(5608)1771

L03(5608)1770

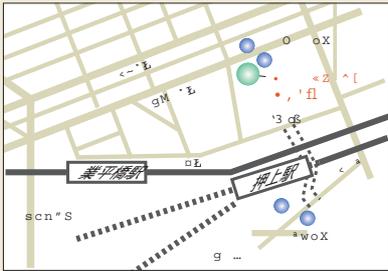
女性のためのカウンセリング&DV相談

【相談日時】

毎週月・水・金曜日、毎月第2土曜日

午前10時～午後4時

V/A H03(5608)1772



お母さんが、おしゃべり中はお子さんをお預かりします

【費用】 無料 \*ただしテキスト代1050円(当日徴収)

【申込み】 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、10月21日～10月31日にすみだ女性センター(押上2 12 7 111)へ

\*申込多数の場合は選考

成功する再就職のコツ

実際に再就職、転職活動を行う時の心構えと、具体的な履歴書・職務経歴書の書き方、面接のポイントなどについての講義と適職発見ワーク、個別相談を行います。費用は無料です。

【日時】 12月12日(水)

午前9時半～午後4時半

【場所・申込み先】 すみだ女性センター

1へ

\*満1歳以上就学前のお子さんを保育

します(定員有)

\*共催 財団法人21世紀職業財団

相手も自分も大切にする「コミュニケーション」

資格や事務処理能力に加えて、今いろいろな場で重要視されるのが、「コミュニケーション能力」です。

相手も自分も大切に「アサーティブネス」の基本を学び、スキルアップを図りませんか。

【講師】 特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定トレーナー

谷口雅恵氏

【日時】 平成20年1月24日(木)

午後1時～午後4時

【場所・申込み先】 すみだ女性センター

1へ

アサーティブネス「相手とのよりよい関係を築く自己主張方法」

子育てママの、私の時間「おしゃべりルーム」

子育て中のお母さん同士で気軽に「おしゃべりして「ほっと」しませんか?」

お子さんとすみだ女性センター委員やボランティアの方が楽しく過ごします。費用は無料です。

【日時】 10月18日(木)

午前10時～正午

【対象】 区内在住の幼稚園等入園前のお子さんとお母さん

【場所・申込み先】 10月1日午前10時から、すみだ女性センターへ

その他のお知らせ

300人以下の労働者を雇用する企業の皆さんへ

仕事と家庭の両立にやさしい企業を応援するため、都では「中小企業両立支援推進助成」を今年度から開始します。助成対象および金額は左表のとおりです。なお、この助成を受けるには一般事業主行動計画を策定し東京労働局雇用均等室に届け出た後、「とうきょう次世代育成サポート企業」への登録が必要になります。詳しくは「TOKYOはたらくネット」  
<http://www.hatarakumetro.tokyo.jp>をご覧ください。

【問合せ】 都労働相談情報センター

電 戸 事 務 所 13682 6321

東京都中小企業両立支援推進助成金

|   | 助成対象                                                                 | 内容                                     |
|---|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1 | 社内の両立支援を推進する責任者の設置(19年度対象社数50社程度)                                    | 40万円                                   |
| 2 | 社内の意識啓発等に係る経費                                                        | 助成率1/2 上限10万円                          |
| 3 | 社内のルールづくりに係る経費                                                       | 助成率1/2 上限50万円                          |
| 4 | 育児休業取得者の代替要員の雇用に係る経費(国(21世紀職業財団)の「両立支援レベルアップ助成金代替要員確保コース」との併用はできません) | 助成率1/2 上限1人あたり150万円(1社につき、育児休業取得者3人まで) |

助成金1、2については19年度から助成を開始、3、4も含めて20年度～24年度

# 墨田さんちの

# 男女共同

だんじょ  
きょうどう

さんかく  
ものがたり

# 参画物語

墨田さん一家は会社員のお父さん、パートで働くお母さん、大学生のさくら、中学生の太郎とおじいちゃん、おばあちゃんの6人が一つ屋根の下で暮らす、にぎやか3世代家族。いつも会話が絶えません。さて、今回はどんな話が飛び出すのでしょうか.....。

## の巻

父 実はお父さんの部署で、今度、**育児休業をとる男性**がいるんだよ。

太郎 へえー、男の人が？

さくら さすが、進んでいる会社は違う！

父 その人の代わりをする**人員の経費の一部が補助**されるんだよ。

母 へえ、安心して育児に入ってもらうためにも、必要な制度ね。

さくら ということは、出産した人はどうなの？ 産休終えたらすぐに職場復帰するの？

太郎 さすが、おねえちゃん。興味津々だね。

さくら 当たり前じゃない。これからは自分で働き方を選ぶ時代なんだから。

父 たぶん女性が先に数カ月とって、交代で男性がとるんじゃないかな。

祖父 ほう。育児休業は2人でとることもできるのか。

祖母 世の中、どんどん変わってきてますよ。私がお



## 男女共同参画社会への

# キーワード

### ▶育児休業をとる男性

男性の育児休業取得についての考え方を聞いたアンケート（(財)こども未来財団「子育てに関する調査」）によると、約4割の男性が事情が許せば取得したいと答えています。しかし、その一方で、取得するつもりがないという男性も約3割います。また、育児休業を断念する理由を聞いたアンケート（厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査」）では、「同僚に迷惑がかかる」「評価が下がる」などをあげています。

### ▶人員の経費の一部が補助

「育児・介護雇用安定等助成金制度」といい、育児休業取得者の代替要員を確保し、かつ育児休業取得者を現職等に復帰させた事業主（雇用保険の適用事業主または事業団体）に対し、ある一定の基準を満たした場合助成金が支給される制度です。

〔問い合わせ先〕21世紀職業財団地方事務所  
03(3868)9601

### ▶短時間勤務

フルタイムで働く社員や職員より労働時間は短い、フルタイムの社員同様の役割、責任を持ち、能力評価や昇給なども同等に扱われる制度。勤務時間に応じて、賃金はカットされますが、育児や介護と仕事を両立させるために有効な支援策として注目されています。

### ▶在宅勤務

厚生労働省の調査によると、インターネットの普及とともに、自宅で会社の仕事をする在宅勤務を望む女性が7割以上となっています。主に中学生までの子どもや介護などを抱えている人です。しかし、企業もその効果を認めている一方、導入しているのはわずか数パーセントに過ぎません。

### ▶自分の時間を有効に使えるような働き方

理想とする労働条件を聞いたアンケート（厚生労働省「社会保障を支える世代に関する実態調査」）によると、若い世代では「有給休暇が取得しやすい」「残業が少ない」をあげる人の割合が高くなっています。しかし、現実には有給休暇の取得率は5割をきっています。



世話しているお子さんの母親にも、**短時間勤務**や**在宅勤務**を利用して、働いている人がいるんですよ。  
さくら そうよね。IT化の時代、自宅でも仕事ができるってことか……。

母 そうね。設計士のような仕事は、特にそうじゃない？ そんな働き方ができたら、子育てとの両立もしやすいんじゃないかしら。

さくら まずは結婚に意欲がわいてきたわ。

太郎 もう、彼氏もいないっていうのに、よくいうよ。

父 これからは、少子高齢化で、働き手が不足するからね。企業も人材を確保するために、多様な働き方を模索しているんじゃないかな。

祖父 わしらの頃は、とにかく会社のためにがんばって働くことが求められていたが、いまはそれじゃ通用しないってことか。

父 そうそう、みんなに話そうと思っていたんだけど、お父さん、バンドを結成することにしたんだ。

太郎 うそ!!

父 ノー残業デイを利用して、練習しようと思ってるんだ。

さくら それって、いま流行りのおやじバンド。

父 まあね。学生時代の仲間とやるんだがね。

母 働きながら、自分の時間を持てるのはいいことだね。

父 そうなんだよ。とくにノー残業デイの日は、みんな効率よく働いているね。

さくら だったら働けばいいってもんじゃないから。私も設計士になったら、勉強の時間が持てたり、**自分の時間を有効に使えるような働き方**がしたいな。

父 それは会社の問題もあるけど、さくらの仕事の実力にかかっているな。

祖母 さくらの将来が楽しみね。

太郎 とところで、今日のごはんは何？

母 久しぶりにお母さん特性のアサリたっぷりの深川井よ。

全員 ではいただきます。

# 私らしく輝いて

住みよい地域づくりのためにできることから始めてみませんか

運転ボランティア  
萬年 繁三さん



「親」の看護も含めて、私はもともと人の世話をするのが苦にならない性分なんです」と笑顔で語るのは、病气や年齢で身体が自由がきかない方や、障害を持った方のために「運転ボランティア」として活躍している萬年繁三さん。

萬年さんは、2003年に母親の介護のために実家のあった墨田区に引越してきました。しかし、2級ヘルパーの資格を取得して懸命に介護したにもかかわらず、翌年にお母様は亡くなってしまいました。

「舞踊の好きだった母の供養にと思って、女性センターで『かつぼれ』を始めたのが、地域とのかかわりの最初です」

そんな萬年さんが、地域のボランティアを始めたきっかけは、壊れた車椅子を修理して東南アジアへ送る運動をしている高校生の純真な姿を見て感動したからでした。

「高校生が自分のことで頑張っているのだから、自分も身近なところで活動しなければならぬ」と考えさせられました」

もともとボランティアに理解があり、新潟県中越地震のボランティア活動に参加した経験もあった萬年さんの行動は早いものでした。萬年さんの所属する運転ボランティアが発足したのは3年前のことです。萬年さんは立ち上げ当時のメンバーの一人として、警察で運転講習を受け、区の施設で急救命などの研修を受けたのちにボランティアをはじめました。

「現在20数名の方が登録されていますが、全員男性です。しかし、女性の利用者は、やはり女性の運転手のほうが安心されると思います。ぜひ、女性の方にも参加していただきたいと思っています」と語る萬年さん。ボランティアの輪が広がっていくと、利用者も利用者の立場にたった活動はまだまだ充分とはいえません。

「ボランティアは、男女を問わず人の役に立ちたいという気持ちがあれば誰でもできるものです。たとえば子どもたちに昔の遊びを教えることもいいのです。まずは自分ができる身近なことから始めてみてはどうでしょう。こうした一人ひとりの一歩が住みよい地域づくりにつながると思います」

あなたの歯の歯医者さん  
心もからだも歯っぴーに

医療法人社団 慧成会  
押上ファースト 歯科  
墨田区業平3-17-9 マルホンビル4F  
TEL:03-5819-4825  
URL:www.oshiage1st.com

『あなたの時間』  
ケーブルテレビがお届けします。

J:COM すみだ  
さくらケーブルテレビ株式会社

■お申し込み・お問い合わせはJ:COMカスタマーセンター  
0120-953-532  
9:00~21:00

広告